



2018年10月20日発行 〒501-4307 岐阜県郡上市明宝二間手 606-1 郡上市役所明宝庁舎内 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会 発行

もうすぐ募集開始！ ぎふグリーン・ツーリズム ネットワーク大会！



先月号に引き続き、第8回ぎふグリーン・ツーリズムネットワーク大会の速報です。今回のテーマは「グリーンツーリズムで地域を元気に！」。「関係人口」という新しい視点で地域を元気にする先頭に立つ田中輝美さんを基調講演に向かえ、ワークショップでは、開催地、郡上の実践を題材に「元気な地域の作り方」を熱く語り合います。昨年度できなかったフィールドワークも魅力的なコンテンツを集めて実施します。

■講師：田中輝美（ローカルジャーナリスト）
「交流人口」でも「移住・定住人口」でもない「関係人口」を増やすことで地域を元気にするという新しい実践で、全国から注目を集める田中輝美さんのお話をうかがっています。

日 程：2018年12月5日(水)～6日(木)

場 所：郡上市明宝
「明宝コミュニティセンター／多目的ホール」他

WORK SHOP ||| 同じテーマでワークショップとフィールドワークを行います！

第1日目
12/5(水)

地域の課題、何をどう取り組んだらいいの？
郡上の地で、実際に日々活動を続けている講師の方々と共に話し合い、解決の道を探ります。

第1ワークショップ

移住者と共に地域を創る！

■講師：平野彰秀（NPO法人 地域再生機構 副理事長）
◎進行：小林謙一（一社 郡上ふるさと定住機構 理事）

なぜ郡上市は移住者が増え続けるのか？ なかでも「陸の孤島」とよばれる石徹白地域に自ら移住して、新しい暮らし方を実践しながら仲間を増やし続けている平野彰秀さんに、その一部始終をうかがい、地域再生について共に考えます。



第2ワークショップ

インバウンド、魅力を伝える企画を創る！

■講師：ジョシュア・ベーウィング（ツアーガイド）
◎進行：安田早苗（Space光の帶）

日本の田舎に惚れ込んで郡上に移り住んだジョシュア・ベーウィング氏。美しい里の風景と人々の日常を世界へ発信して、オリジナルのツアーを創っています。氏の心に写る風景を元に、私たちが何を発信すべきかを考えます。



第3ワークショップ

『めいほう食の教科書』に学ぶ 食の伝承と地域活性化

■インターブリター：嵯峨創平（岐阜県立森林文化アカデミー教授）
◎コメンテーター：石田賀代子（ピスター・リマーム代表）

郡上明宝には、伝統的な食文化が色濃く残っています。これを重要な資源として位置づけ、昨年『めいほう食の教科書』が編纂されました。地域の食文化の保存と継承に力を注いでおられる嵯峨教授にリードしていただきながら、食文化を地域活性化につなぐ道筋を考えます。



FIELD WORK ||| ワークショップで話し合って、 フィールドワークでやってみよう！

第2日目
12/6(木)

実際にやってみないと分からないこともある！
ワークショップで話し合ったことを、講師の方々と共に現場で実感、現場で実証します。

第1フィールドワーク

このツアーでゲット！ 移住者獲得のキラーコンテンツを歩く。



■講師：小林謙一（一社 郡上ふるさと定住機構 理事）
◎コメンテーター：平野彰秀（NPO法人 地域再生機構 副理事長）

都市からの移住を考えている人たちに、彼らの心に響く場所や人の出会いをコーディネートして決断へと導く・・・、小林謙一氏に明宝を案内してもらい、その具体的な事例にふれながら移住者獲得の手法を学びます。

第2フィールドワーク

外国人ツアーガイドと歩く里山発見ウォーク！



■講師：ジョシュア・ベーウィング（ツアーガイド）
◎進行：安田早苗（Space光の帶）

ジョシュア・ベーウィング氏といっしょに明宝の里を歩きながら、外国人がどんな風景に感動し、どんな時間を過ごしたいと思っているか現場で直接学びます。また、それをどのように発信したらいいかを学びます。

第3フィールドワーク

地域に眠っている食文化を 体験プログラムとして覚醒させよう！



■講師：石田賀代子（ピスター・リマーム代表）
◎進行：嵯峨創平（岐阜県立森林文化アカデミー教授）

『めいほう食の教科書』の冊子に紹介されている地域に伝わる食の献立を、自然食泊 愛里の女将、石田賀代子さんに学びながら体験プログラムに立ててみます。都会の人たちが喜ぶ食体験プログラムを作ってみよう！